

「境港市防災行政無線システム更新計画（案）」に係る
パブリックコメントの実施結果について

平成30年1月29日
自治防災課

「境港市防災行政無線システム更新計画（案）」について、パブリックコメントを実施した結果、3名の方から以下のとおりご意見をいただきました。

市の考え方は、次のとおりです。

意見の内容（概要）	左に対する市の考え方
①資料が難しくてわからない。 また、比較が○か×かの単純なもので、一つ一つの項目が100点満点なのか70点なのか50点なのか、知識のない市民がパッと見てわかるような資料作りをされたほうがいい。	①計画につきましては、わかり易く、あらためて本市でのシステム更新の必要性や方針等を明確にし、構成及び表現等について修正いたします。しかしながら、本計画では、比較の点数付けは、明確な点数や判断の基準を設けるのが難しいため、簡易的な○×式としています。
②いくら高性能なスピーカーを設置としても、気密性の高い家が増えている中で聞こえるものになるのかは、この資料からはよくわからない。	②難聴対策については、高性能なスピーカーを適所に配置することで、難聴地域の減少を図っています（配置図5-1（現状）と採用案の図5-3と比較）。また、ご指摘のとおり、屋内への確実な情報伝達については課題であり、対応としては、戸別受信機が有効ですが、希望世帯への配付及び自己負担については、引き続き検討することとしています。
③今の防災行政無線の機能を残しながら市民情報や観光客の人たちにも情報発信ができるFMラジオ局があれば地域が盛り上がると思う。	③コミュニティFMは、広報紙以外の情報発信ツールになることは理解できますが、当計画は防災行政無線システムの更新計画であり、現状の防災無線の運用体系をできるだけ維持することを基本に防災対策を主目的とした観点から計画を策定しています。本市において、行政広報や観光情報の発信のために放送局が必要だという議論もない中、計画することはできません。